



視 察 研 修 等 報 告 書

令和5年11月10日

坂井市議会

議 長 辻 人 志 殿

会 派 名 政 友 会
報 告 者 川 畑 孝 治

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～令和5年10月12日(木)
2. 視察研修先 (1) 参議院議員会館(東京都千代田区)
(2) 幕張メッセ(千葉県千葉市)
3. 視察研修内容 (1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー
(2) 第13回農業Weekの視察
4. 参加者 川畑 孝治(政新さかい 辻人志議員同行)

5. 内容詳細

(1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー

岸田首相は今年8月3日に豊島区役所を視察後、「安心して民間事業者による身元保証などのサポートを受けられる仕組みを作る」と述べているが、それについて、今後どのように具体化するか、任意後見制度の現状と課題を含め、身元保証サポート事業の今後の展開について、法務省・厚労省・総務省の担当官からレクチャーを受けた。

(2) 第13回農業Weekの視察

農業Weekは、最新のハウス・路地栽培資材、農機、肥料、包装・物流、鳥獣害対策などの資材が出展されている「農業資材EXPO」と、最新のIT・DX、ドローン、ロボット、植物工場、再生可能エネルギー、人材雇用、参入支援など最新の技術が出展されている「スマート農業EXPO」、食品加工機器、OEM、鮮度・衛生管理、物流・包装、EC・販売支援などの加工から販売までを支援する企業が出展する「6次産業化EXPO」、飼料、給餌器や、畜舎、衛生製品などの資材・設備や、ITを用いた農場

生体管理などのサービスが出展されている「畜産資材EXPO」、CO2削減や有機栽培、SDGs推進可能な最新の製品、サービスが出展されている「農業脱酸素・SDGsEXPO」の5つの展示会で構成されている農業分野では日本最大の展示会で、今回も3日間で約3万5千人が来場している。

6. 所見・感想等

(1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー

今回調査は、任意後見制度を中心に総務省行政評価局、法務省民事局、厚生労働省老健局の担当者より、レクチャーを受けた。

自分自身も、平成28年に市内高齢女性の任意後見人の委任を受けたが、今回の調査において、任意後見契約は家庭裁判所が任意後見監督人を選任した時から効力が生じることなど、この制度がほとんど知られていない状況であった。任意後見人には、預貯金の管理や不動産等の重要な財産の処分など、「財産に関する法律行為」、介護サービスの契約締結や福祉関係施設への入所契約締結など「身上監護に関する事務」を委任できる。任意後見契約は公正証書によって契約する必要があり、公証人役場など制度を利用するには、ハードルが高いように感じた、坂井市においては、地域包括支援センターの相談業務の中で後見人が必要な時には、裁判所への手続きを行っているが、任意後見人制度についても制度の周知が必要では？と感じた。

(2) 第13回農業Weekの視察

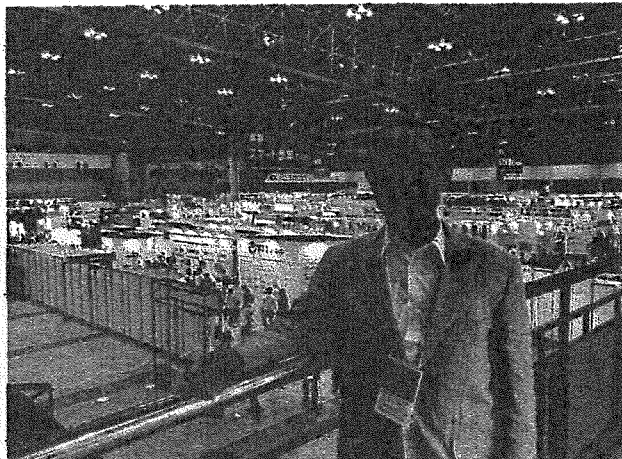
千葉県幕張メッセで行われた、第13回農業Weekの視察を行った、スマート農業などが、数年前から言われている、人で不足や農業者の負担軽減など期待されているが、本格的な導入にはもう少し時間がかかりそうで、大規模な農地の方が、よりメリットを受けるので、まずは北海道での実証が進められているとの事であり、又導入には多額の資金が必要となる。人口光による植物工場の展示も多く有った、その中でも三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社では、1株300gのレタスやハウレンソウの年間収穫が19回出来たことなどを聞き大変驚き、技術の進歩を感じた。また、同社は高浜町に工場を建設する予定があるとの事で、完成後に是非とも視察したいと思った。

ガーデン&アウトドアEXPOのコーナーに、坂井市の第一ビニール株式会社が大きなブースで出店しており、各種ガーデニングなどの商品を展示紹介していた。その時に、小林社長からふるさと納税の返礼品について聞かれた、市の担当者に繋ぎ、新たなふるさと納税の返礼品となるよう取り組みたい。

7. 添付資料



▲省庁担当官からのレクチャー
(参議院議員会館)



▲第13回農業Week
(幕張メッセ)

会派内供覧	